

校長の話

校長 上村 哲也

令和5年度最初の日を、こうしてみなさんとともに無事にむかえることができました。皆さんの元気な姿、明るい笑顔を見ることができ、本当に嬉しく思います。ここに、新たに、新1年生が加わり、25学級、児童数524名でスタートします。



さて、今、気分はどうですか。もちろん、不安もあることと思いますが、新しい一年のスタートに、「ようし、今年は楽しい一年にするぞ」と期待していることと思います。

人が大きく成長するためには「節目」が必要です。節目とは大きな区切りのことです。節目はそれまでの生活に大きな変化をもたらします。みなさんにとっては新しい学年になり、先生や仲間が変わることがその節目にあたります。今日がその節目、一年で一番大きな節目です。



新しい生活が始まると、それまでの仕組みや仲間が変わり、苦勞したり悩んだりすることもあります。それは当たり前のことです。それよりも、新しい友達をつくり、みんなで力を合わせて楽しい学級をつくり上げていくことに、価値があります。そうすることで皆さんは成長することができるのです。

今の新鮮な気持ちをエネルギーに変えて、自分の目標を立て、新しい学級で、それぞれの力を存分に発揮して、楽しい一年を過ごしてほしいと思います。

終わりに、3月の卒業式で、卒業生が皆さんへ残していった言葉を、卒業生に代わって紹介します。

特に、新6年生、5年生のみなさんへ、

「在校生のみなさん 明日からは皆さんがリーダーです
わたしたちの大好きな 伝統ある第一小学校を さらに
素晴らしい学校にしてください」・・・

私たち職員も、メンバーが変わりました。でも、それをよいチャンスと考えて、力を合わせてみなさんを支えていきます。みんなで、安全で安心して通うことができるいい学校をつくっていきましょう。

